

うららだより 8号



平成26年8月

夏本番になり、暑い日が続いていますが、うららでは夏ならではの催しが行われています。ご利用者様には様々な催しに参加していただき、楽しい夏を過ごしていただきたいと思います。

～ドリームハイツのお祭り～



お神輿がきました



～ミニトマトの収穫～



2階の食堂前で栽培しているミニトマトの収穫を利用者の皆様にしていただきました。収穫したミニトマトは、皆様においしく食べていただきました。



花火大会開催



7月31日（木）にうらの正面玄関前で花火大会を開催しました
夏の風物詩、花火をご利用者様に楽しんでいただきました。

～納涼祭のご案内～

開催日： 平成26年9月7日（日）

時間： 10:30～15:00

場所： 介護老人保健施設 うらら内

食べ物屋・ゲーム等をお楽しみ頂けます。皆様のご参加をお待ちしております！
暑さに負けず夏を乗り切りましょう



看護部通信

利用者へ寄り添うケアとは？

当施設を長らく利用されたご利用者が認知症の進行に伴う摂食障害により、医療機関で栄養管理をされ、再び入所されました。

しかしながら、意思の疎通が十分に図れない、自ら食事を摂らないといったご利用者の状態は入院前と変わりません。私達が考えたことは、施設職員による食事介助を中心とした日常生活全般におけるケアは前回と同じですが、生活する空間（フロアー）・ケアを提供する看護介護職員といった療養環境を替え、ケア提供を始めました。

治療を受けてきたからとは言え、摂取量や嚥下は不十分であることから多職種でのカンファレンスを持ち、事務職員をも含めた施設内職員がマンツーマンでの食事介助を始めました。すると、数日後には今迄は自ら食事を摂ろうとしなかったご利用者が、自らスプーンを持ち、お皿に手を出す姿を見かけるようになりました。看護介護職員をはじめ施設内職員にはたまらない光景でした。

認知症ケアには環境調整が必要と言われており、ご利用者が再入所された時に提供したものはズバリ！環境です。私達が提供したケアを全て受け止め、精一杯の反応を返していただき、無事、特別養護老人ホームへ行かれました。「次の移り住む場所まで何とか良い状態で行っていただこう…」という施設内職員の意気込みが強く感じられた機会でもありました。